

てんかんによる自動車運転事故を防ぐにはどうすればよいのか？

—わが国のてんかん医療の現状と対策—

厚労省障害者対策総合研究推進事業(精神障害/神経・筋疾患分野)普及啓発活動

病気による自動車運転事故を減らすには良い医療の提供が不可欠です。日本のてんかん医療の現状に関する厚労省研究班の調査を基に、てんかんによる自動車運転事故を減らすには何をすべきなのか、皆様と共に考えます。

主催：厚生労働科学研究費「てんかんの有病率等に関する疫学研究及び診療実態の分析と治療体制の整備に関する研究」研究班

共催：日本予防医学協会、後援：日本てんかん学会、全国てんかんセンター協議会、日本てんかん協会

日時：平成25年11月16日（土） 13時30分～16時30分

場所：TKP品川カンファレンスセンター ホール4A (〒108-0074 東京都港区高輪3丁目13-1)

対象：医療・報道・行政・立法・患者会関係者、一般市民

申し込み：先着200名、メール (epicent@ncnp.go.jp) 又はファックス (042-346-1793)

宛先：国立精神・神経医療研究センターてんかんセンター

プログラム

第Ⅰ部 13:30～15:15 (座長) 池田昭夫
てんかんとは？ —患者さんは何を必要としているのか— 東北大学医学部てんかん科教授 中里信和
こどものてんかん、大人のてんかん 京都大学医学部てんかん・運動異常生理学講座教授 池田昭夫
高齢化社会とてんかん 産業医科大学神経内科准教授 赤松直樹
法改正でてんかん医療はどう変わるか？ 日本てんかん協会副会長 久保田英幹
わが国のてんかん医療の現状と対策 —てんかん診療ネットワークが目指すもの—
国立精神・神経医療研究センターてんかんセンター長 大槻泰介

第Ⅱ部 15:30～16:30

パネルディスカッション てんかんによる自動車運転事故を防ぐにはどうすればよいのか？

(座長) 大槻泰介

(パネリスト)

日本医師会常任理事 三上裕司

米ハドソン研究所上席研究員 磯村順二郎

第Ⅰ部演者 4名